

# NPO法人コンカリーニョ2010年度事業報告

## 1. 事業の成果

生活支援型文化施設コンカリーニョ、ターミナルプラザことにパトス、あけぼのアート&コミュニティセンターの基本三館体制のもと、各種事業を精力的に行い、芸術文化振興とともに芸術文化を生かしたまちづくり活動の分野にて、各方面より評価を得、いっそうの信頼を得ることができました。

### <2010年度トピック>

- ・ 「すすきの若者地域活性化プロジェクト」にて、札幌市緊急雇用創出推進事業を受託遂行。平成23年度も継続受託。(2012年3月31日まで)
- ・ 札幌駅前通地下歩行空間にて、にぎわい交流のためのパフォーマンスコーディネートを手がける。

### 【2010年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

ニトリ北海道応援基金、(財)アサヒビール芸術文化財団、地域商店飲食店各18店、(独)芸術文化振興基金、(財)北海道文化財団、北海道舞台塾実行委員会、(財)北海道地域活動振興協会、(社)北方圏センター、札幌市さぼーとほっと基金CGCこども基金、平成22年度札幌市地域商業魅力アップ事業、札幌市西区まちづくり団体活動助成

### <5ヵ年計画進捗状況>

1. たまり場づくりカフェ構想  
「給食堂bio」(あけぼのアート&コミュニティセンター)にて、ノウハウ蓄積中。
2. 各種講座  
演劇講座「劇をつくるということ」の第2期継続実施。  
専門学校札幌ビジュアルアーツとの提携インターンシップ開始。
3. 芝居づくり  
予定通り市民参加劇を創作したものの、2011年の5周年記念プロデュース公演は断念。
4. 仲間作り大構想  
カリットメンバーは、自主的活動スタイルも定着したが、その他の新規の方策打ち出せず。
5. 公共施設の管理・運営  
あけぼのアート&コミュニティセンター管理運営において、一部周辺住民よりの音の苦情、スタッフ育成などに課題発見。
6. レジデンスアーティスト構想  
コンカリーニョを拠点に活動したいという意向を持つハムプロジェクト、yhs、introなどとの協議を進めた。先行して、パトス若手劇団支援稽古場プロジェクトを、fire worksとともにスタート。

定款 第5条 事業 (1)特定非営利活動に係る事業
① 芸術文化の創造と発信を推進する事業
② 芸術文化のイベント等を企画・制作する事業
③ 芸術文化に関するセミナー・講演会に関する事業
④ 芸術文化の体験学習(ワークショップ)に関する事業
⑤ 青少年が芸術文化に親しむ機会と環境を整備し、その育成を図る事業
⑥ 芸術文化活動を行う個人・団体に対し、その活動を支援する事業
⑦ 芸術文化活動を通してまちづくり活動を推進する事業
⑧ 文化的人権の確立や芸術文化による福祉向上に関する事業
⑨ 芸術文化活動に関わる者の社会的地位向上を図る事業
⑩ 芸術文化活動やまちづくり分野での職能開発と雇用機会の拡充を支援する事業
⑪ 劇場づくりの推進と、劇場運営方法開発に関する調査研究事業
⑫ 必要な調査研究、情報収集及び提供する事業
⑬ 会報及び出版物の発行
⑭ 公共施設の管理運営事業
⑮ その他、この法人の目的達成のために必要な事業

## 2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 【 】内の番号は、特定非営利活動に係る事業内容（前頁参照）

### 1. 施設運営事業 【①】

事業費 32,587千円

#### (1) 生活支援型文化施設コンカリーニョ 【⑥】

運営開始5年目、稼働率、プログラム数、利用者人数ともに昨年度実績より大幅減少という、存在意義・経済的側面からも危機的状況。特に、繁忙期であるはずの9～11月の落ち込みも激しく、かつ、現在の消費傾向の低下という社会全般の動きからみても、大胆な方策とともに日頃の地道な努力が必要と考えられる。

		昨年度比
稼働率	27.9%	17.7%減
プログラム数	41本	17本減
総利用者数	14,156名	32.4%減
事業費	11,086千円	-

#### (2) ターミナルプラザことにパトス 【⑥⑭】

昨年度に引き続き、稼働率、プログラム数、利用者人数ともに2年連続で伸びた。若い世代へのパトス周知、気軽なたまり場づくり、出演者・スタッフ・お客様の多世代多ジャンル交流を狙いに担当職員自らが積極的に立ち上げた、音楽やダンスなどのライブイベントを毎月一回開催する「パトスは毎月やるプロジェクト」、担当理事である遠州雅樹さんを交えた定例パトスミーティングによる様々なディスカッションの効用も大きいと考えられる。

稼働率	46.10%	3.7%増
プログラム数	117本	16本増
総利用者数	20,252名	14.0%増
事業費	5,842千円	-

#### 1. パトスは毎月やるプロジェクト [9～6月で6回開催、928名参加、収益205千円]

参加者の過半数が高校生であり、若い世代への周知が進み、彼らのスタッフとしての協力やイベントのない日でも立ち寄る高校生も現れ、たまり場的機能も持ち始めている。

#### 2. 若手劇団稽古場支援プロジェクト [9月～劇団fire works]

#### 3. 定期稽古利用枠設定 [イベント開催の少ない火・水限定、利用申込未だナン]

#### (3) あげぼのアート&コミュニティセンター

【⑥⑦⑭】

運営2年目、長期入居スペースのほぼ満室運営、体育館の利用増により、安定的経営を行うことができ、法人全体の経営を支える大きな柱となった。

稼働率	54.0%	22.0%増
総利用者数	52,384名	23.8%増
事業費	15,685千円	-

ただ、運営開始はつととなった2010年夏に発覚した体育館の防音設備不備による一部周辺住民よりの音に関する苦情のため、利用者には結構な負担を負って頂くことになり、利用を許可できないものも生まれており、運営に関する大きな不安要因となっている。

交流食堂bioの活発な活動、地域連合町内会と共同で行ったサマーフェスティバルの成功、曙まちづくりセンターと共同で発行し始めた曙通信(季刊)、前庭コミュニティガーデンなどの活動により、地域の信頼獲得と認知がいつそう進んだと思われる。しかしながら、文化と地域をつなげることを目的に企画した長期入居者による文化講座等は、参加者が集まらないため中止など、残念な結果となった。主に広報不足が原因と考えられる。

また、施設利用者数は増加はしているものの、地域のこどもたちや高齢者が気軽に立ち寄れる場所にはなっておらず、施設ボランティアの立上げ素地もつれておらず、施設コンセプトの理解促進といつそうの努力と工夫が必要であることがわかった。

主な出来事		
8月8日	サマーフェスティバルin曙2010 (実行委員会主催)	1,100名参加
8～12月	長期入居者による講座4本、公演1本 [助成]ニトリ北海道応援基金	174名参加
1月29日	「つけもの自慢大会」【都市連携コミュニティ再生講座】	43名参加
9～6月	給食堂bio自主企画9本	104名参加
12～3月	コミュニティガーデン勉強会4回 (共催：NPO法人 人まち育てI&I) [助成]ニトリ北海道応援基金	67名参加
4月～定例 第2・4水曜日 第1・3土曜日	まちなか畑計画2シーズン目 (NPO法人人まち育てI&I共催) [助成]セブンイレブン記念財団「緑化植花活動」、 ホクレンショップレジ袋削減運動協力御礼助成金 畑くらぶ員 6団体、10個人、合計32名登録	

○ 入居者運営会議 毎月1回定例 (12回開催)

○ 地域連絡会 2回開催 (12月7日、5月19日)

○ 曙通信発行、曙連合町内会で回覧 3回(9月、1月、4月)

### 2. 企画事業 【②】

事業費 28,026千円

7月17日 ・18日	コンカリ夏祭り 【⑦】 13組出演、18組出店 500名来場 [助成]ニトリ北海道応援基金
8月22日	あーとdeバザール琴似本通り(琴似商店街振興組合共催) 【⑦】
8月28日	コミュニケーション教育北海道勉強会(劇場連絡会主催) 【③⑤⑩】 [助成]ニトリ北海道応援基金、(財)北海道文化財団 @あけぼのA&C 50名参加
9月11日 ・12日	VS. KYOTO 【⑥】 4ステージ 406名来場 ニットキャップシアター、ユニット美人(以上、京都より) 弦巻楽団、intro 4劇団参加 [助成]芸術文化振興基金、(財)北海道文化財団
10月9日 ～11月9日	北方圏のAlive音楽vol.4「FINLAND DAYS!!」 【④⑤】 @ちえりあ、札幌市中央図書館 1,280名来場 [助成]ニトリ北海道応援基金、(財)アサヒビール芸術文化財団、(財)北海道文化財団、(社)北方圏センター
12月11日	土曜はコトニ「夢まちアイデアコンテスト」(実行委員会主催) 【⑦】 1ステージ 40名来場
1月10日	新春餅つき大会&正月昔遊び 【⑤⑦】 1ステージ 102名来場 [助成]札幌市西区まちづくり団体活動助成
1月12日	北方圏のAlive音楽vol.5「グレンライヴ」@パトス 1ステージ 73名来場
2月1～28日	西区文化フェスタ@パトス 19プログラム、2,146名来場 (西区・企画委員会主催、コンカリーニョ企画運営) 【⑦】
2月12日 ・13日	2010年度住民参加型温故知新音楽劇 18名出演3ステージ 478名来場 「旗ヲダスベカラズ」 【⑦】 作：すがの公 [助成]ニトリ北海道応援基金、(財)北海道地域活動振興会、札幌市さぼーとほっと基金CGC子ども基金 演出：斎藤ちず 音楽：橋本幸 [協賛]地域商店・飲食店18店舗
2月19日	士別朝日町公演@あさひサンライズホール(北海道舞台塾主催) 1ステージ 189名来場
3月5日 ・6日	若い演出家と日本の戯曲シリーズ#00 安部公房「制服」 【⑥】 演出：重堂元樹 プロデューサー：小室明子 3ステージ 189名来場
4月8～10日	第5回第生活骨董市 【⑦】 3日間 25店舗出店 900名来場
5月7日	INDEPENDENT 札幌予選会 @パトス 【⑥】 4組参加 117名来場
5月14日 ・15日	コンカリーニョ講座事業「劇をつくるということ」第2期 【⑥】 「カカフカカ」 [助成]ニトリ北海道応援基金 作：メンバー一同 演出：イナダ(イナダ組) 演技演出：納谷真大(イレブン☆ナイン) 講座生12名参加 プロデューサー：斎藤ちず 3ステージ 356名来場

主催事業10本、参加実行委員会主催2本、委託事業2本

- 札幌市緊急雇用創出事業NPOによる地域密着型雇用創出事業 その2 【⑦⑩】  
「すすきの若者地域活性化プロジェクト」 事業費 8,014千円  
喜井萌希をリーダーに「すすきの盛り上げ隊」を結成し、活発な活動を行った。その結果、若者たちのススキノ地区まちづくり活動への理解が進み、ススキノ地区の商店主さんや既存活性化グループからの信頼を得た。「すすきの盛り上げ隊」は、「飛び道具」、「想いのコーディネーター」と呼ばれるようになり、ススキノ地区に特に顕著な利害関係調整の困難を若者たちが突破できる可能性を発見できた。

- コミュニティビジネス支援事業 まちweb『さっぽろことにどっとねっと』 【⑦】  
[助成]平成22年度札幌市地域商業魅力アップ事業 事業費 2,206千円  
琴似八軒のまち情報webサイト作製。http://www.sapporokotoni.net/

3. 出前派遣事業 【①⑨⑩】 事業費 4,147千円
- 技術制作派遣  
琴似飲食業組合ビール祭り、はこだて国際民族芸術祭ほか
  - 講師派遣 【③④】 [助成] ニトリ北海道応援基金  
後志地区高校演劇部合同ワークショップ、あさひサンライズホール学校ワークショップほか
  - コーディネーター  
劇団千年王國「贗作者」道内ツアー、沢則行白老公演、札幌弁護士会「司法修習生の給費制維持に関する集会のための寸劇」（8月、6月）、札幌駅前通地下歩行空間「チカチカ☆パフォーマンススポット」

4. 共通事業 【①⑬】 事業費5,604千円
- 劇場通信発行と配付（毎月10,000部\*12回）
  - メールニュース発行（月2回 600名\*24回）
  - 内部ミーティング  
役員会：定例奇数月第2月曜日19：00～  
7月24日、8月6日、9月22日、11月8日、1月10日、3月14日、5月9日（7回）  
全体ミーティング：定例偶数月第2月曜日19：00～  
7月2日、8月5日、10月11日、12月13日、2月14日、4月11日、6月13日（7回）  
カリットミーティング：定例毎月第4水曜日19:00～  
7月28日、8月25日、9月27日、10月29日、11月24日、12月29日、1月26日、  
2月23日、3月23日、4月27日、5月25日、6月30日（12回）

(2) その他の事業 該当なし